

交差する世界へ

NITTAN ART FILE2

# クロスオーバー

CROSSOVER

加藤広貴

佐竹真紀

千代明

中坪淳彦

松井紫朗

千代明 (Work no.20 2016) 2016年 アルミニウムにウレタンペイント (部分)

2017年 6月17日 [土] - 7月17日 [月・祝]

休館日：月曜日 ※7月17日 (月・祝) は開館

観覧料：一般 300円 (240) 円 / 高大生 200 (140) 円 / 中学生以下無料

※ ( ) 内は 10名以上の団体料金です。 ※ 免除規定がありますのでお問い合わせください。  
※ 年間観覧券でもご覧いただけます。 ※ 常設展及び同時開催の中庭展示もご覧いただけます。

苫小牧市美術博物館 [愛称：あみゅー]

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3-9-7

TEL: 0144-35-2550 FAX: 0144-34-0408

<http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan>

# クロスオーバー

CROSSOVER

交差する世界へ

当館の立地する北海道胆振・日高（日胆）地方ゆかりのアーティストや、その地域をモチーフとする作品に焦点を当てる展覧会シリーズ「NITTAN ART FILE」。同シリーズの第2弾となる本展では、「クロスオーバー」すなわち「異なる領域の融合」をテーマに、ジャンルの異なる5人のアーティストをとりあげ、「記録」と「記憶」、「内」と「外」、「ミクロコスモス」と「マクロコスモス」、あるいは「美術」と「音楽」、「科学」、そして「博物」など、イメージの境界や分野の垣根を越えた組み合わせによる独創的な作品世界を紹介します。



加藤広貴  
かとう・ひろき  
[画家]

1972年苫小牧市生まれ。苫小牧市在住。1997年武蔵野美術大学大学院油絵コース修了（優秀賞受賞）。新作家協会会員。都市景観をはじめ、雪原や船舶などを主なモチーフとして扱い、褐色系を基調色とするノスタルジックなタッチによって、対象の再現性に縛られない独自の作品世界を展開。視覚的に心地のよい色や形の追求により、おのずと現われ出るといふその表象は、「現実」と「非現実」とが融合する様相を呈しており、意識下に潜在するイメージの世界へと見る者を誘う。



佐竹真紀  
さたけ・まき  
[映像作家]

1980年豊頃町生まれ。札幌市在住。2005年北海道教育大学大学院修了。連続的に撮影した写真を用いて、コマ送りの順を再編集する実験性の高いアニメーションを制作。自身が撮影したイメージと家族の手によるそれとを組み合わせながら、「現在」と「過去」という時間軸が交差する映像表現を展開し、「記録」と「記憶」の狭間にある曖昧かつ普遍的な「記憶の中の世界」を探究している。第25回シュトゥットガルト Filmwinter 2012 最高賞等、国内外での受賞歴多数。



千代明  
せんだい・あきら  
[美術家]

1957年門別町豊郷生まれ。日高町富川在住。スペイン、フランス滞在を経て、初期はグリやミロらの影響を受けたシュルレアリスティック（超現実主義的）な平面作品を制作。近年は宇宙や自然界のエネルギーをテーマに、板金塗装の技術に応用した、金属にウレタンペイントを施す色彩豊かな作品を創作している。宇宙の起源や生命体の誕生、そしてその循環などを、抽象的なフォルムや鮮烈な色彩表現によって視覚化することで、独自の作品世界を築き上げる。



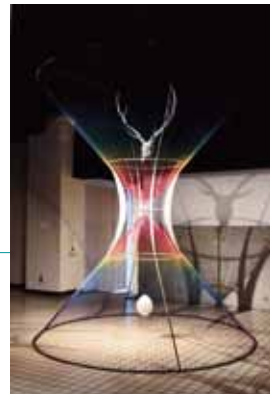
中坪淳彦  
なかつぼ・あつひこ  
[音楽作家]

1966年苫小牧市生まれ。苫小牧市在住。1982年よりテクノ・エレクトロミュージックを主体とする音楽活動を開始。以降、楽曲制作をはじめ編曲やリミックス等も多数手掛け、オリジナルアルバムのリリースのほか、国内外のコンピレーションアルバムにも参加。大衆音楽に迎合しない「表現としての音楽」を追求しており、美術館やアートイベント等において、アーティストやサイエンティスト、舞踊家とのコラボレーションを試みるなど、「音楽」という枠組みを越えた活動を展開している。



松井紫朗  
まつい・しろう  
[彫刻家]

1960年奈良県天理市生まれ。京都府在住。一貫して空間をテーマに多様な素材を用いながらユーモアと理知を備えた立体表現を展開。自然科学の原理を応用した作品や、「内」と「外」を意識化させる作品により、人間の知覚や空間認識に揺さぶりをかける。2011年のJAXA（宇宙航空研究開発機構）との共同プロジェクト以降、その表現領域を宇宙にまで拡張しており、近年は「手に取る宇宙」をテーマに、「内／地球」と「外／地球」の関係性を顕在化するスケールを度外視した作品を制作。



千代明《Pillar of time - 時の柱 -》2010年



加藤広貴《二十六夜》2012年



佐竹真紀《Pivo》2017年 ビデオ作品



中坪淳彦《都市の記憶》2017年  
※映像資料「昭和40年代の苫小牧」(当館蔵歴史資料)より



松井紫朗《手に取る宇宙 - アチラトコチラ 2016》2016年 札幌宮の森美術館での展示 撮影：竹本英樹

## ★ 関連イベント

中坪淳彦パフォーマンス +  
6月17日〔土〕10:30-11:00

ミッション「手に取る宇宙」+

宇宙から届いたガラスのボトルを  
実際に手に取ることができます。

6月18日〔日〕14:00-16:00

講師：松井紫朗

料金：300円（別途観覧券が必要）

対象：小学生3年生以上 50人

アーティストトーク +  
6月17日〔土〕14:00-15:30  
本展出品作家

ギャラリートーク  
7月2日〔日〕、7月15日〔土〕

①10:30-11:00

②14:00-14:30

当館学芸員

※ + マーク付のイベントは要申込み（受付期間：6月1日～6月16日）。

申込み先：美術博物館 ▶ TEL: 0144-35-2550 ※ ギャラリートークは申込み不要。直接会場へ。

※ イベント内容の詳細については、お問い合わせいただくか当館HPをご確認ください。

同時期開催／中庭展示 Vol.9 松井紫朗「Channel」  
4月29日〔土・祝〕 - 8月27日〔日〕

次回展覧会／トヨタ自動車北海道株式会社創業25周年記念  
「水から未来を紡いで 20世紀美術の創造」  
7月27日〔木〕 - 8月27日〔日〕

### アクセス

《バス》JR 苫小牧駅南口より、のりば①から「24番」「30番」「札幌駅前行」「郊外線」のりば②から「21番」、のりば③から「13番」「14番」に乗り、「出光カルチャーパーク」で下車。※ 所要時間約8分、料金210円（下車後、徒歩約5分）

《自家用車》国道276号線と国道36号線の交差点（「苫小牧信用金庫中野支店」かど）を港方向へ曲がり、交差点の次の信号を右折。出光カルチャーパーク内に駐車場（料金無料、約70台駐車可）があります。



## 苫小牧市美術博物館 [愛称：あみゅー]

〒053-0011 北海道苫小牧市末広町3-9-7

TEL: 0144-35-2550 FAX: 0144-34-0408

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/hakubutsukan